

北光

第 152 号

平成24年4月25日



北光会 (<http://www.hokkokai.com>)

秋田鉾山専門学校
秋田大学鉾山学部 同窓会
秋田大学工学資源学部

目 次

北光会年会費について……………	別紙
平成24年度北光会通常総会・支部総会のご案内……………	色紙 1
巻頭言……………	吉 田 大 作 …… 3
会長便り……………	菊 地 芳 朗 …… 4
学部創立100周年記念事業報告	
寄附者御芳名……………	5
退職教員挨拶……………	8
大谷 規隆・菊地 賢一・菅原 茂夫 鎌田 真一・井上 浩・川上 洵	
平成23年度北光会新正会員歓迎会・大学院修了祝賀会……………	14
平成23年度卒業生・修了生進路状況……………	15
学生の声「北光会賞受賞者」……………	18
留学生体験記……………	アメ・タトウ・セレベン …… 25
鄧 素 娟 ……	26
関西セミナー報告……………	石 川 浩 次 …… 27
北光会東日本大震災義援金寄附者御芳名……………	28
東日本大震災で被災された学生への義援金給付について（報告） ……………	五十嵐 隆 治 …… 30
寄稿「私の職場体験記」……………	大 曲 覚 …… 31
「北光寮記念碑」設置・除幕式・祝賀会のご案内 菅 井 幹 夫 ……	35
平成24年度工学資源学部入学志願状況……………	内 田 隆 …… 36
本（鉱物資源フロンティア）の紹介……………	細 井 義 孝 …… 37
石井宏一先生（教育文化学部）へ北光会より感謝状贈呈……………	37
平成23年度第2回北光会理事会報告……………	38
北から南から……………	39
母校便り……………	46
会員便り・事務局から……………	48
訃報……………	49
編集後記……………	50

写真説明：「小町まつり」

小野小町（おののこまち）の出生地として知られる秋田県湯沢市小野。毎年6月第2日曜日、湯沢市の「小町堂」を会場に7人の小町娘が平安時代の衣装に身をつつみ、和歌を奉納するお祭りが開催されます。

～北光会年会費について～

払込用紙が2種類同封されております。
どちらかの用紙をご使用ください。

1年分(3,000円)ご納入の方は下記の用紙をご使用ください。
(コンビニまたは郵便局からのお振込)

お支払のご案内

2. 振込用紙番号

振付 年 月 日

1. 振込先

ご利用いただき誠にありがとうございます。下記の通りご案内申し上げます。

お支払方法

※必ず下の欄に振込用紙番号をご記入ください。

※お振込みの際は、お振込みの金額は正確に記入してください。

※お振込みの金額は、お振込みの金額に正確に記入してください。

※お振込みの金額は、お振込みの金額に正確に記入してください。

お支払内容

お支払金額

お支払期日

振込先

振込金額

振込期日

振込先

振込金額

振込期日

卒業年・会員番号です。

過去未納入年度がある場合でも、今年度分の会費納入とさせていただきます。

2年分・3年分・5年分、並びにご寄附の方は下記の用紙をご使用ください。(郵便局からのお振込)

- ◆5年分(12,000円)は前納割引となっております。
- ◆北光会運営のためのご寄附を承っております。

お支払のご案内

2. 振込用紙番号

振付 年 月 日

1. 振込先

ご利用いただき誠にありがとうございます。下記の通りご案内申し上げます。

お支払方法

※必ず下の欄に振込用紙番号をご記入ください。

※お振込みの際は、お振込みの金額は正確に記入してください。

※お振込みの金額は、お振込みの金額に正確に記入してください。

※お振込みの金額は、お振込みの金額に正確に記入してください。

お支払内容

お支払金額

お支払期日

振込先

振込金額

振込期日

振込先

振込金額

振込期日

●該当する□に✓を入れ、金額欄に合計金額をご記入ください。

●会員番号・卒業年は上記をご参照ください。

銀行口座自動振替による年会費納入を検討しております

「忙しくて郵便局に行く時間がない…コンビニが近くに無い…」

もっと便利に会費納入が出来ないものか…」

このようなご意見が寄せられ、ただ今、年会費の銀行口座自動振替を検討しております。おおよその希望者人数を把握するため、同封の「総会出欠ハガキ」でアンケートをとらせていただきました。ご記入の上ご返信くださいますようお願い致します。なお、口座自動振替の場合、継続してのご納入となりますので、1年分2,400円(割引会費)とさせていただきます。(通常1年分3,000円)

また、会費未納の方でも、過去分は問いませんのでこれを機会に是非ご協力下さいますようお願い致します。

年会費納入について（お願い）

会計担当理事 五十嵐 隆 治（ES49）

会員の皆様には日頃から北光会の運営にご協力頂きまして誠に有難うございます。おかげさまで、「北光」の発行、新会員歓迎会などと共に学部への支援、学生への支援、支部活動並びに会員への支援、東京サテライトその他への支援等を実施させて頂いております。平成 23 年度は東日本大震災被災者への支援も含め学部創立 100 周年記念事業への支援と、大きな支援実績を上げることができました。会員の皆様のご協力に改めて御礼申し上げます。今後もいろいろな支援を含め同窓会としての活動実績を積み上げて参りたいと存じます。

実績向上のためには皆様からの会費の納入が前提となりますが、近年納入者数および納入金額が減少傾向にあり、諸活動の支援に活用しております同窓会の基金が相当に早いペースで減って来ております。平成 8 年度から 23 年度までの経常費（会費）の納入件数が 33%、納入額で 43% の減となっております、大変厳しい運営を強いられております。この分、基金の取り崩しも増えまして、基金残高は平成 23 年度で、平成 16 年度のピーク時の約 40% と、半分以下にまで減少しております。平成 21 年度よりコンビニ払込を開始する（コンビニ利用率 約 40 パーセント）などの努力を重ねて参りましたが会費納入の件数も額も大幅には改善されておられません。このまま推移しますとさらに「北光」の回数を減らす、ないしは同窓会のいろいろな活動を縮小するなどの手だても取らざるを得なくなることが懸念されます。

事務局としましてもいろいろ努力はして参りますが、さしあたり会員の皆様に会費の納入を切にお願いしたいと存じます。年会費は現在 3,000 円でございますが、2 年・3 年・5 年と複数年にわたる会費納入もお考え頂ければ誠に有難く存じます。なお 5 年分年会費は割引となっております、5 年分ですと通常 15,000 円のところ前納割引の措置がございまして、12,000 円をお納め頂くことで 5 年分の納入となります。前頁にも記載されておりますとおり、割引料金での銀行口座自動振替での会費納入も検討しており、是非この前納割引もご活用頂ければ誠に有難く存じます。

以上、同窓会の一層の発展をめざしましてご協力頂けますことをお願い申し上げたいと存じます。

＜お問い合わせ先＞ 北光会事務局 TEL・FAX 018-835-9822
E-mail : info@hokkokai.com

平成24年度 北光会通常総会のご案内

会 員 各 位

平成24年 4 月吉日

北光会会長 菊 地 芳 朗

今年度の北光会通常総会を下記の通り開催いたしますので、万障お繰り合わせの上ご出席下さいますようご案内申し上げます。

記

開催日：平成24年5月26日（土）

会 場：秋田キャッスルホテル

秋田市中通1-3-5 電話 018-834-1141(代)

通常総会

時 間 14：10～15：50

会 場 同 上

議 題 (案) (1) 役員選出の件

(2) 平成23年度会務及び事業報告の件

(3) 平成23年度決算報告の件

(4) 基金使用報告の件

(5) 平成24年度予算案審議

(6) その他

感謝状授与式

講演会

時 間 16：00～16：40

会 場 同 上

講演者 秋田大学長 吉村 昇 氏 (ES42)

演 題 「秋田大学 これまでの実績、これからの取組み」
— 学生が自信と誇りを持つような大学作りを —

懇 親 会

時 間 17：00～

会 場 同 上

会 費 男性 7,000円 女性 4,000円（当日受付で申し受けます）

参加される方は5月18日(金)までに「北光」152号に同封のハガキまたは電話・FAX・E-mailでお申込下さい。なお、宿泊は各自お手配願います。

<お問合せ先>

北光会事務局 TEL 018-835-9822 または 018-889-2317

FAX 018-835-9822

E-mail: info@hokkokai.com

——平成24年度 北光会支部総会のご案内——

北海道支部

日 時：平成24年 5月13日(日)

16：00～総会 16：40～講話会 講師 岡崎富夫氏(HS22) 17：30～懇親会

場 所：センチュリーロイヤルホテル（札幌市中央区北5条西5丁目 TEL 011-221-2121(代)）

会 費：6,000円（平成20年以降卒業 3,000円、新入会員無料）

連絡先：支部事務局 aasiyo@vega.ocn.ne.jp(森) TEL 011-883-1449

支部長 i-chiba@almond.ocn.ne.jp(千葉) TEL 011-386-6206

（お気軽にご参加下さい）

秋田支部（本部総会と一部合同）

日 時：平成24年 5月26日(土)

11：00～支部総会 14：10～本部総会・講演会 17：00～懇親会（本部と合同）

場 所：秋田キャッスルホテル 懇親会会費：本部と同じ

連絡先：秋田支部事務局 石塚鈴雄（FS48）

TEL 018-868-2808(自宅) E-mail:skishizuka@yahoo.co.jp

申込み：支部総会に参加の方は、5月14日(月)までに上記へお申込下さい。

東海・北陸支部

日 時：平成24年 6月2日(土) 15：00～19：00（受付14：30～）

15：00～総会 16：00～講演会 17：00～懇親会

場 所：ホテルリソル岐阜（岐阜市長住町5-8 Tel：058-262-9269）宿泊可

アクセス「JR岐阜駅」「名鉄新岐阜駅」より徒歩5分 駐車は隣の926駐車場に。

講演会：講師 安西廣恭氏（BS37） 演題：「がんって何？」

会 費：7,000円（女性・平成20年以降卒業 4,000円 今年度新入会員は無料）当日受付で。

申込み：「北光」はさみ込みハガキで、5月21日(月)までにお寄せください。

連絡先：東海・北陸支部事務局 長野勝也（FS41）

Tel/Fax 0564-52-7393 E-mail：k.nagano@gol.com

九州支部

日 時：平成24年 6月16日(土) 総会 18：00～20：00

場 所：鹿児島東急イン（鹿児島市中央町5-1 TEL 099-256-0109）鹿児島中央駅より徒歩5分

会 費：6,000円（平成卒業者2,000円割引・新入会員は無料）

連絡先：九州支部事務局 福岡水道設計(株)内 瀬戸信吾（BS52）

E-mail :shingo_seto@fukuoka-sui.co.jp TEL 092-475-8820 FAX 092-475-8865

関西支部

日 時：平成24年 7月7日(土)

理事会 13：00～ 総会及び特別講演会 14：00～15：30 懇親会 15：45～17：45

場 所：弥生会館 大阪市北区芝田2-4-53（大阪駅北側近く）電話06-6373-1841

会 費：7,000円（新入会員は不要）

連絡先：関西支部事務局 鈴木邦彦（BS59）ヤマキウ(株)内

電話 06-6552-7420 FAX 06-6552-7421

関西支部長 石川浩次（BS32M）E-mail：k_ishikawa@msj.biglobe.ne.jp

卒業後の半世紀を経ての雑感

四国支部長 吉 田 大 作 (HS36)



昨年、創立100周年記念を迎えた。昭和36年卒業生は卒後50年目であり、創立から真中に育った学生であります。

今、その当時を振り返ってみますと学、住、食共構内を中心とした4年間を過ごさせて戴いた

寮のことが特に思い出されます。寮の数は構内に北光寮、桂林寮があり、四ツ小屋に誠心寮があったように記憶しています。

小生が入寮していた北光寮は校舎から100m位の所にあり、木造2階建の5棟が渡り廊下で繋がっておりました。中央棟を本館とし、左右に1, 2と3, 4寮となっており部屋サイズにより2～4名となっていました。

寮生は大略120名位で、学部20名位の人数が寝食（食は3食）を共にしておりました。寮に支払う費用は住食併せて2,200円位であったような気がします。また、部屋の住分けは、原則として同年は組めず、各学年が混在するような仕組みになっていました。

新入生として入寮した当初は、入寮早々に訪れる「部屋廻り」と称する上級生の挨拶に驚いたものです。酒を飲み気合いをつけた先輩たちが毎晩のように訪れ、出身地紹介から、寮生のあり方の講義には若干こたえました。

しかし、楽しかった事や便利なこともあり、それなりに良かったと思っております。

思い出はさておき、昨年の3月11日に東北から関東までの太平洋沿岸を襲った東日本大震災の地震、津波等による死亡者が2万人位とも言われ、又家屋等々の倒壊、流失は数知れない未曾有の被害を蒙りました。さらに派生して起きた東京電力の福島原発の事故による放射能の漏洩汚染被害の天災と人災による歴史的な大惨劇を見るにあたり、天災はまだしも、自然の力を甘くみた人智の浅さにより起きたと推定される人災の方が恐ろし

く感じております。

安全第一とされる公共事業において、計画時に検討されるであろう歴史的調査をしなかったのか、知っていながら他の目標を優先するために疎かにしたのか、いずれにせよ、人災と推察される事は残念であります。

また、一昨年より続いている経済動向を見ますと、我国は、誰でも御存知のように工業製品の製造、輸出により生計を得ている国であるのに拘らず、輸入、輸出のバランスが壊れるほどの円高を受入れ、日本の産業が国内でいくら努力しても報れず、やむなく中止か、賃金差を求め諸外国への工場移転等を行わざるを得ない状況におかれています。つまり日本の経済は疲弊し沈没状態になることが自明の理であるにも拘らず、何等目に見える対策をとれない国際経済戦音痴の政治家と政府。これも或る意味での人災であると思いますが如何でしょうか。

暗い話題はこの辺で止めまして、北光会に対する提案です。

漠然とした考えですが、「会」においてコンサルティングのような組織を設けたら如何でしょうか。（勿論、個人的な活動はあるでしょうが）。元気の良い、定年を迎えられたOBの方々は夫々長年培った専門的知識、技術、連繋がある筈です。

幸い我々の学部は、地質調査から始まり採掘、精錬、加工、再生等一連性がある技術を有しており、OB先輩方はそれ等の中で得意としている分野を「会」に登録する。各人の得意分野を会報等で紹介することにより、問題を抱えた現役の人達が「会」に紹介を依頼する。「会」は適当な人材を選び紹介することにより、「実体験に基いた指導を得る」ようにする。

このようなシステムを利用して貰えば後輩方々とのコミュニケーションを図る事が出来、「会」の親近感が増し、消息等も得ることが出来るのでは、と思ったりしております。要は何等かの方法で「会」をより魅力的なものにして盛り上がるように考えた愚案ですが、如何でしょうか。

会長 便り

新正会員歓迎会によせて ～技術者としての自覚～

菊 地 芳 朗 (GS34)



3月22日、新正会員歓迎会を行いました。卒業式もありました。歓迎会で次の様な内容の挨拶をいたしました。

昨年は、この歓迎会を行うことが出来ませんでした。ご存じのように東日本大震災で卒業式も行うことが出来ませんでした。

誠に残念なことでした。

私たちは3月になれば4年生の卒業式があり、北光会の歓迎会があることは当たり前のことと考えておりました。しかし一度なくなってみますと、こうして行われていることが、いかに有難いことであり大事なことか、と思い知りました。

さて、この度の大震災ですが、日本は古来幾度かの地震と津波に遭ってきました。その度に私たちの祖先は、それを克服し繁栄してきました。しかし、今回の震災は違います。原子力発電所の事故で放射能が加わりました。日本は広島・長崎の原子爆弾と第5福竜丸の放射能汚染を経験しました。だが、この度の事故で、事故後の放射能対策や原子炉内の冷却水など事故対策に何ら対処してこなかったことが判明しました。全てが技術者の責任とは申しませんが、技術者の一人として反省しなければなりません。

皆様の多くは技術者として仕事をしていくものと思います。技術者が社会に対し、どのような責任が在るか、ということです。昨今の我が国の経済は、芳しいと申すことは出来ません。何か閉塞感を感じる様に見受けられます。資源の少ない我が国にとって経済発展のためには資源を輸入し、それを加工し付加価値を付けて輸出することが大切です。そのためには皆様の技術力が必要です。そのことを良く考えて下さい。このようなことを歓迎会で述べました。

さて、創立100周年記念会の募金ですが、ここに来て漸く2億円を超えました。ご協力頂きました皆様に厚くお礼申し上げます。

3月31日現在、募金金額は4,561名(件)総額2億14万円で、その内訳は

企業	業	263件	5,968万円
篤志	家	22名	153万円
教職	員	180名	1,138万円
学部後援	会	14回	2,981万円
北光	会	4,082名	9,774万円

であります。

募金は現在も継続しております。創立100周年記念事業の一つとして旧校舎を模した建物(インキュベーションセンターの事務棟)を建設中です。完成は10月頃と見られますが、これが出来ると創立100周年記念会の見通しも付きますので、募金はその頃まで続けたいと思っております。

尚、北光会本部は、この建物に入居することになっております。

北光会で行いました東日本大震災義援金ですが、多くの皆様からご協力を頂きました。お礼申し上げます。賜りました義援金は本号の理事会報告に記載してあります様に、お見舞金として差し上げることにしております。

改めてお亡くなりになりました方のご冥福をお祈り申し上げますと共に、被災されました皆様には心よりお見舞い申し上げます。

3月2日の地元紙「秋田魁新報」に「秋田大、「国際資源学部」を新設 工学資源、教育文化を改組」を検討している、との記事が載りました。

これは国際的な資源開発や金属資源リサイクル分野に教育文化学部の国際系課程を集約して国際資源学部(仮称)を新設する。工学資源学部の工学・理学系学科は理工学部(仮称)に改組する、というものです。

これは我が国の資源外交と鉱工業を考えると、時代に要請されたものと考えられます。北光会としても必要があれば協力していかなければならないと考えております。一方、これは北光会自体の問題でもあります。5月の総会で学長の講演があります。ここで更に詳しい内容が聞かれるものと思います。

皆様の出席をお願いいたします。

北光会は皆様の会費で維持されております。会費納入率の向上にご協力ください。

「北光」が年2回の発行となります。

平成24年度より「北光」は4月下旬と10月下旬の年2回の発行となります。

クラス会便りなどの原稿は従来どおり受け付けますので、多くの方々からのご投稿をお待ちしております。

【お詫び】

「北光」151号(平成23年11月25日発行)の計報欄に、誤って坪 紀彦(AH10応)様を掲載してしまいました。坪様はご健在です。坪様、並びに関係の方には深くお詫びを申し上げます。

北光会年会費について

◇払込用紙が同封されていない方

平成24年度分の年会費は納入済となっております。ご協力に対し厚くお礼を申し上げます。

◇払込用紙が同封されている方

平成24年度以降の年会費納入のご協力をお願いいたします。(同封の払い込み用紙は平成24年3月31日現在で作成されております。)

払込用紙が2種類同封されておりますので、「北光」巻頭頁をご覧の上、ご協力ください。よろしくお願いいたします。

訃 報

館 充 先生 ご逝去

元冶金学科教授 館 充先生は平成23年10月29日ご逝去されました。ここに謹んで哀悼の意を表します。

北光会顧問 渡 邊 喜 一 様 ご逝去

北光会顧問 渡邊喜一様(金属S16後)は平成24年3月16日ご逝去されました。ここに謹んで哀悼の意を表します。

謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます。(敬称略)

(北光151号発行後連絡を受けた方々)連絡先については事務局にお問い合わせ下さい。

科・年	氏 名	逝去年月日	OS20	大 森 僖志雄	静岡県	H23年11月19日
BS5	関 根 五 郎	東京都 H24年3月13日	OS20	小 川 孝 道	福島県	H23年5月25日
FS11	篠 田 治 男	神奈川県 H23年7月28日	ES22	内 田 仁	北海道	H20年8月14日
MS16K	崎 山 泰 秀	大阪府 H22年4月1日	MS22	片 桐 英 夫	兵庫県	H23年7月13日
ES19	小野崎 三 男	秋田県 H23年12月10日	OS22	高 橋 昭 雄	三重県	H23年5月23日
FS19	北 村 耕 一	神奈川県 H23年10月16日	TS22	飯 田 茂 吉	千葉県	H23年9月30日
FS19	酢 屋 潔	秋田県 H23年11月30日	BS23	池 田 友 保	栃木県	H23年12月24日
KS19	高 橋 操	神奈川県 H24年3月23日	KS23	佐 藤 壽	秋田県	H24年3月30日
MS19	斎 藤 正 平	福岡県 H24年1月25日	OS23	高 橋 和 夫	秋田県	H23年10月24日
OS19	小 角 又 次	東京都 H23年7月1日	MS26	佐 藤 安 雄	千葉県	H15年1月28日
ES20	後 藤 義 清	山口県 H22年	MS26	木 下 太 衡	埼玉県	H21年11月4日
FS20	野 口 照 久	東京都 H23年3月15日	OS26	大 平 孝 志	千葉県	H23年8月6日
KS20	岡 本 正 安	神奈川県 H23年11月4日	MS28	佐々木 省 吾	埼玉県	H23年4月3日
MS20	栗 田 喜久弥	山形県 H23年5月9日	MS28	丸 山 敬	東京都	H20年5月1日

ES29 佐々木 定 二 秋田県 H20年 5月 7日
 BS30M 神 部 武 彦 秋田県 H24年 1月 6日
 HS36 鈴 木 健 北海道 H23年11月16日
 FS41 森 田 隆 志 大阪府 H19年10月26日
 MS43 長 内 亮 秋田県
 ES43 船 川 克 夫 神奈川 H24年 3月 1日
 GS45 打 矢 貞 子 秋田県 H24年 2月20日

HS46 神 宮 稔 神奈川 H23年10月 3日
 KS48 立 原 実 茨城県 H23年 7月 4日
 ES52 柳 沢 昌 明 H23年 8月15日
 HS58 高 橋 伸 群馬県 H23年 1月13日
 FS59 山 崎 尚 純 新潟県 H23年 4月17日
 MH7 佐 野 純 一 新潟県 H22年10月26日
 IH17 細 川 和 伴 岩手県 H23年

— 編 集 後 記 —

長かった冬もようやく終わりを告げ、春が訪れようとしています。時期を同じくして、卒業論文が終わり、ほっとした顔の学生を見ているところらまで顔がほころんできます。分析だ、実習だ、ゼミだ、などと一緒に過ごした日々を思うと、秋田大学を巣立つ姿を見るのは喜ばしいことではありますが、同時に寂しくもあります。今年は特に感慨深く感じるのは、あの震災を共に乗り越えてきたからでしょうか。思い返せば、あの震災からもう一年経ったのだと、改めて実感いたしました。

留学生から震災についての話を聞いてみると、一様にインフラの復旧の早さや秩序が守られていたことに驚いていました。まさに官民一丸となり復興へ向けて動いていたのではないかと思います。復興といえば先日、技術部の研修として技術職員の被災地への ICT 機器の提供業務についての講話を聞かせて頂きました。出来ることを迅速に、かつニーズに合う提供法を考えながら臨機応変に対応する姿勢に感銘を受けました。震災関連のニュースは、最近では見ることが少なくなりましたが、復興が終わらない地域はまだ沢山存在しています。一日も早い復興を祈りつつ、私達に出来ることも模索していきたいと思います。

さて、前号、前々号と記念特集号が続きましたので、今号は久しぶりに通常のコンテンツでの発刊となりました。通常版に戻ったとはいえ、豊富な内容でお届けしたつもりです。今年退職されました先生方には長年にわたってのご経験と教育・研究に対する熱い思いを書いて頂きました。そして大曲様には私達が想像もつかない

戦場での激しいご体験を知らせて頂き、二度とこのようなことのない平和な世界でなければならぬことを痛感いたしました。また、今号は留学生体験記として英語の記事があります。驚かれた方も多いのではないのでしょうか。昨今、学内は国際化がどんどん進んでおり、北光会員も必然的に留学生の会員数が増えております。その変化に少しでも対応した今号を楽しんで頂けたら幸いです。 佐藤比奈子(AH6応)

発行所 〒010-8502 秋田市手形学園町1-1
 秋田大学工学資源学部 北 光 会
 URL: <http://www.hokkokai.com>
 E-mail: info@hokkokai.com
 電 話 018(835)9822
 018(889)2317
 F A X 018(835)9822
 振 替 02510-5-1231

発行人 神 谷 修(MS51)

編集委員

鈴木 雅史(ES60) 佐藤比奈子(AH6応)
 山下 剛司(RH4) 近藤 良彦(FH5)
 長谷川 崇(QH15) 横山 洋之(DH1)
 長縄 明大(PH2) カビール ムハムドゥル(EH12)
 鈴木 雄(CH20)

北光会事務局

事務局 長 神 谷 修(MS51)
 庶務担当理事 麻 生 節 夫(HS52)
 会計担当理事 五十嵐 隆 治(ES49)
 ホームページ担当理事
 横 山 洋 之(DH1)
 コンピュータ担当理事
 玉 本 英 夫

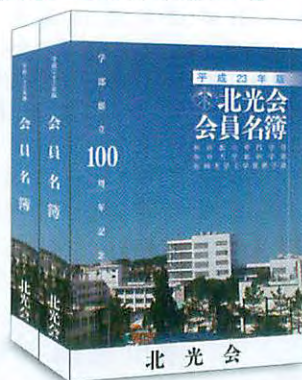
事務室 遠 藤 福 子、佐々木 静 子
 印刷所 秋田活版印刷株式会社

平成23年版 北光会会員名簿発行に関して

会員名簿 編集委員長 鈴木 雅史(ES60)

すでにお手元に届いている方も多いかと思いますが、昨年末に学部創立100周年を記念し、「平成23年版 北光会会員名簿」を発行しました。今回の名簿では、機械工学科卒業の杉山渉先生(現：機械工学科講師)の撮影による工学資源学部の全景を表紙から裏表紙にかけ広く掲載するとともに、ほぼ同じ位置から撮影された創立当時の秋田鉾山専門学校の全景を並べてみました。また、特集として100周年記念式典・祝賀会の様子をカラーページとして掲載したほか、昭和初期から現在に至るまでの、懐かしい写真を多数掲載いたしました。さらに学部の年表も添付しております。まだ多少の残部もございます。是非ご購入の上、100年の歴史を振り返るとともに、懐かしい先輩、後輩、友人への連絡などにお使い頂ければ幸いです。

す。今回は特別な100周年記念号となっておりますが、6,000円と大変お買い得となっております。発行部数限定のため、売り切れ次第終了となります。詳しくは北光会事務局までお問い合わせください。



北光会事務局 TEL・FAX 018-835-9822
E-mail: info@hokkokai.com

～講演会のご案内～

北光会と工学資源学部の共催で、下記の通り「講演会」を開催いたします。皆様お誘い合わせの上ご参加くださいますようお願い申し上げます。

記

日 時：平成24年9月1日(土)「防災の日」15:00～(予定)

場 所：仙台サンプラザホテル(仙台市宮城野区榴岡5-11-1 TEL022-257-3333)

講 師：松富英夫氏

秋田大学大学院工学資源学研究科 土木環境工学専攻教授
附属地域防災力研究センター長

講演内容：東日本大震災を踏まえた今後の津波対策

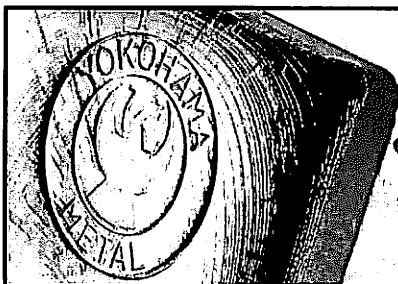
懇 親 会：17:00～ 会費5,000円(当日)

<連絡先>

北光会東北支部事務局 八柳紀一(ES39) TEL・FAX 022-246-0580

北光会本部事務局 TEL・FAX 018-835-9822

会員の方はもちろんのこと、会員以外の方もお誘いの上、多数の方々のお参加をお待ちしております。



横浜金属株式会社

終ありのない鉱脈は、都市にある。

純銀
999.9

Gold Silver Platinum Palladium Rhodium Ruthenium

- 社団法人日本金地金流通協会正会員
- L.M.E.(ロンドン金属取引所)銀地金公認ブランド
- 東京工業品取引所 銀地金受渡供用品指定ブランド
- 東京工業品取引所 銀地金指定鑑定業者
- 日本工業規格認証取得工場(銀地金)
- ISO9001認証登録(横浜金属株式会社)
- ISO14001認証登録(横浜金属商事株式会社)
- ISO9002認証登録(裕昌金属工業株式会社)
- 社団法人日本経済団体連合会会員(横浜金属株式会社)

貴金属 精製・精錬

貴金属 歯科材精製・材料販売

貴金属 工業材料

貴金属 宝飾品加工販売



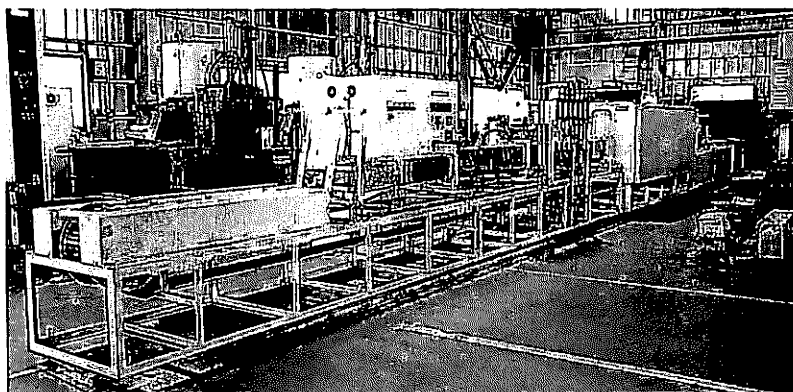
横浜金属グループ

横浜金属商事・JCY・裕昌金属工業(韓国)

本社/〒252-0132 神奈川県相模原市緑区橋本台3-5-2 Tel 042(773)4411 Fax 042(773)4775
<http://www.yk-metal.com>

ステンレスの光輝焼鈍・硬化処理

精密鍛造の光輝球状化焼鈍



株式会社 **サーマル**

〒173-0014 東京都板橋区大山東町38-8

Tel.03-3962-4011 Fax.03-3963-0694

URL <http://www.e-thermal.co.jp> E-mail thermal1@sepia.ocn.ne.jp